

2015年5月20日 現在

混浴温泉世界

mixedbathingworld

別府現代芸術フェスティバル2015「混浴温泉世界」

プレスリリース 01

開催概要

「混浴温泉世界」という考え方



大地から湯が湧きだし、窪みに溜まる。それは誰のものでもない。

人はそれを慈しみ、自発的に守り維持する。

そして、ここに住む人も旅する人も、男も女も、服を脱ぎ、湯につかり、

国籍も宗教も関係なく、武器も持たずに丸裸で、

それぞれの人生のあるときを共有する。

しかし、つかりつづけければ頭がのぼせ、誰もそのままではいられない。

入れ替わり湯から上がり、三々五々、ここを去っていく。

人は必ずここを立ち去り、再び訪れる。ゆるやかな循環。

テーマ「世界は不思議に満ちている」



別府は魔術的な港町です。不思議への扉がところどころにあって、それが開いているときもあれば閉じているときもある。

そのような場所への敬意を込めて、今回はソフォクレスの「アンティゴネー」でコロスが謳う「世界は不思議に満ちている」という一節を引用しました。

ではなんで、ここにそんな言葉で説明のできない不思議が現れるのか？それはおそらく、このまちが湯の上に浮かんでいるからです。

男もいる。女もいる。さまざまな国籍の、子どもも大人も老人も、金持ちもそうでない人も、みんながここで、湯の上に暮らしている。港だから人が行き交う。一夜しかいない人。3年を過ごす人。5年いて、ここを出て、長い旅のあとに再び戻ってくる人。人生のすべてをここで過ごし、去っていく人。湯がすべての違いを飲み込んでいきます。不可解なもの、不条理なもの、説明のつかないもの、そんな現代社会が捨ててきたもの、捨ててこようとしてきたものも、湯は平然と飲み込んでここに生かし続ける。

そんな別府に、3年に一度、アーティストの力を借りて、かりそめの混浴温泉世界が現れます。

2009年以来、「混浴温泉世界」ではこの魅力的な土地を自分の足で歩くことを重視してきました。今回はそれを徹底させ、「アートゲートクルーズ」と「ベップ・秘密のナイトダンスツアー」という、ふたつのツアーを中心に組み立てました。「アートゲートクルーズ」は4人のアーティストのそれぞれの世界へと通じる門、アートゲートを巡る旅です。一方、「ベップ・秘密のナイトダンスツアー」は夜の街角で展開するさまざまなダンスを巡る旅。ともにガイドに導かれ、不思議のまちの奥深くに潜入していきます。

そのほかにも2009年の「混浴温泉世界」に出現した「わくわく混浴アパートメント」の発展形である「わくわく混浴デパートメント」や「永久別府劇場・恐怖の館」といった、あらゆる年齢層が楽しめるプロジェクトも用意しました。「混浴温泉ラウンジ」など夜のプログラムも帰ってきます。

心の衣服をすべて脱ぎ去って、夏の夜の夢のような世界に彷徨い込んでみてください。

別府現代芸術フェスティバル2015「混浴温泉世界」
総合ディレクター 芹沢高志

見どころ



案内人に導かれ、迷宮のような町を巡る

→ P06~11

ツアー型アートプロジェクト

温泉湧出量日本一を誇り、湯の町として知られる別府。戦災を免れたこの町には、古くから温泉地として培われた歴史や文化、公共温泉を核としたコミュニティが今なお息づいています。「混浴温泉世界2015」の柱は、この魅力的な町の奥深くに潜入していく2つのツアープロジェクトです。アーティストが町の内奥に潜ませた作品を鍵に、未知の世界に誘われる少人数のアートツアー「アートゲートクルーズ」と、街全体を舞台に、思わぬ場で圧倒的な身体に出会う「ベップ・秘密のナイトダンスツアー」。案内人に導かれ、夏の夜を彷徨うアートフェスティバルを、お楽しみください。

アーティストが往来し、変化する

→ P12~15

ライブ感溢れる屋内プロジェクト

夏の夜といえばお化け屋敷。「永久別府劇場・恐怖の館」では、元ストリップ劇場を舞台にアーティストが生み出す恐怖と不思議に満ちた空間を体験できます。また、デパート全体を舞台にした展覧会「わくわく混浴デパートメント」では、総勢200名のアーティストが、展示やパフォーマンスで空間を変えていきます。どちらも幅広い年齢層が楽しめる、ライブ感溢れるプロジェクトです。

市民文化祭「ベップ・アート・マンス2015」

→ P16

古くから観光地として栄えてきたこの町では、近年、展示会やダンス、音楽、映画上映など、市民による文化的活動が盛んに行われています。「ベップ・アート・マンス」は、毎年別府市内で開催される、文化芸術にまつわる活動を幅広く紹介する市民文化祭月間。2010年に始まり6回目の今年も、多彩なプログラムが町を彩ります。

*70の団体/個人による80以上のプログラムを予定

無料配布のガイドブックを片手に、

→ P05

多彩なアートイベントを組み合わせ楽しむ

夕暮れからのプログラムが充実した「混浴温泉世界2015」は、同時期に開催される多彩なアートイベントと組み合わせ一日を楽しむことをおすすめしています。大分市で開催されるトイレを舞台にした芸術祭「おおいたトイレナーレ」や、2014年秋に開催された「国東半島芸術祭」の作品の体験、電車を舞台にした「おおいたトレイナーレ」など。大分のアートと地域を紹介するフリーマガジンを片手に、ぜひもう1泊して、アートも温泉も楽しんでみてください。

開催概要

主催 別府現代芸術フェスティバル「混浴温泉世界」実行委員会
 名称 別府現代芸術フェスティバル 2015「混浴温泉世界」
 英語表記 Beppu Contemporary Art Festival 2015 'Mixed Bathing World'
 日時 2015年7月18日(土)～9月27日(日)
 ※定休日はプログラムごとに異なる
 記念シンポジウムを7月18日(土)に開催
 会場 大分県別府市内各所 (中心市街地/鉄輪地区)

助成



平成27年度文化芸術による地域活性化・国際発信推進事業



OBS大分放送

協賛



後援

別府市 大分県教育委員会 別府市教育委員会 公益社団法人ツーリズムおおいた 別府商工会議所
 一般社団法人別府市観光協会 別府市中心市街地活性化協議会 大分県民芸術文化祭実行委員会
 大分県芸術文化振興会議 別府駅前通商店街振興組合 別府料飲協同組合 大分合同新聞社 朝日新聞社
 毎日新聞社 日本経済新聞社大分支部 西日本新聞社 今日新聞社 NHK大分放送局 OBS大分放送
 TOSテレビ大分 OAB大分朝日放送 エフエム大分 CTBメディア ゆふいんラヂオ局
 月刊・シティ情報おおいた 他 ※五感に響け 新しい波 第17回大分県民芸術文化祭参加行事

料金

プロジェクト	中学生以上	小学生	未就学児
①アートゲートクルーズ (2時間半程度のツアー/各回定員15名)	前売券 1,500円 当日券 2,000円	500円	無料
②ベップ・秘密のナイトダンスツアー (1時間半程度のツアー/各回定員50名)			
③永久別府劇場・恐怖の館	500円		入場不可
④パスポート (①+②+③+関連事業および連携企画や店舗・施設の割引・優待 など。各プログラム1回限り有効)	3,500円		
プレミアムパスポート (①+②+③+関連事業および連携企画や店舗・施設の割引・優待 など。各プログラム何度でも参加可能・予約不要)	20,000円		
⑤わくわく混浴アパートメント	無料		

- 金額はすべて税込です。
- 「アートゲートクルーズ」「ベップ・秘密のナイトダンスツアー」は予約時に参加日時をご指定いただきます。定員になり次第締め切りとなります。ご予約はお早めをお願いします。
- 6月11日(木)より前売券販売・予約開始。
- パスポートをご購入の場合も、「アートゲートクルーズ」「ベップ・秘密のナイトダンスツアー」は予約をしていただく必要があります。
- 「永久別府劇場・恐怖の館」は予約不要。
- プロジェクトの性質上、手すりのない階段や薄暗い屋内を歩く行程などが予定されています。

別府市内のプロジェクト展開

戦災を免れ迷路のような街の記憶を巡る、4つのエピソードからなるツアー型のアートプロジェクトや巡回型のダンス公演を、メイン事業として位置づける

湯治文化が今に残る温泉保養地 鉄輪で行う滞在型のプロジェクト

platform04 マイケル・リン 襖絵

platform05 ラニ・マエストロ 作品

清島アパート アーティストアパート

浜脇の長屋 廣瀬智央作品 (宿泊できるアート)

トキハ別府店 「わくわく混浴デパートメント」 (若手作家約200名が参加する常に変化し続けるプロジェクト)

別府国際観光港 マイケル・リン 壁画 ※2015年9月末に完成の予定

JR別府駅 インフォメーションセンター

「アートゲートクルーズ」 ※ツアー出発地 (日常的に入ることができない中心市街地の特徴的な場所に作品を展示。ツアーによって鑑賞を行う)

「ベップ・秘密のナイトダンスツアー」 ※ツアー出発地 (市街地の様々な場所で行われるダンス公演をツアーで案内。週毎にダンサー、内容、場所が異なる)

人が出たり入ったり、常に何か動き続ける屋内の二つのプロジェクト

永久別府劇場・恐怖の館 (アーティスト、ダンサーによって生み出される、3週に一度、変化するお化け屋敷)

富士屋Gallery一也百 「KASHIMA」 (アーティストが滞在し、作品を制作・展示する)

大分県内の多彩なアートイベントと連携

おおいとトレインアール 各地を絵本列車で巡る 7月~9月

ベップ・アート・マンス 市民文化祭 7月18日~9月27日

国東半島のアート体験 自然 x アート 作品は常時鑑賞可能

Oita Made 県内産品をセレクトし紹介

関東・関西>飛行機・フェリー 九州各地域>JR・高速バス 福岡県など>自家用車

日豊本線 九大本線 豊肥本線

OPAM 大分県立美術館 「進撃の巨人展」 など

アートと水族館が融合してリニューアルしたうみたまご

混浴温泉世界 温泉街 x アート 7月18日~9月27日

おおいとトレインアール 都市 x アート 7月18日~9月23日

日田市(連携) 湯布院(連携) 竹田市(連携)



画像イメージ

無料配布のガイドブックを発行

大分県内全域のアート情報と地域の楽しみ方を紹介するガイドブックを6月上旬に発行します。

プロジェクト内容



01：アートゲートクルーズ

案内人に導かれ、もうひとつの時間空間をさまよい歩く、
特別な別府アートツアー

- ◎開催日時 毎週 木・金・土・日・月曜
および9/22(火・祝)、23(水・祝)
16:00~18:30(週末・祝日のみ催行)、18:00~20:30
- ◎集合場所 JR別府駅
- ◎料金 中学生以上 前売券1,500円/当日券2,000円、小学生 500円 (未就学児無料)



会場イメージ

松方正義の発案で明治4年に別府港が開かれて以来、別府は日本の近代化という時代と寄り添って、その姿を変えてきました。空襲を免れたことも幸いし、ここにはさまざまな時代の残り香が今もなおかすかに漂っています。大きな歴史ではない、無数の人々のささやかな想いが積層し、その上に今の別府が夢のように浮かんでいる…。

そんな別府の奥深く、今は使われていない建物や入り組んだ路地裏、ひっそりと広がる地下室など、普段は立ち入ることのできない町の内奥で、アーティストたちが場所と対話し、それぞれのエピソードを紡ぎ出します。アートゲートクルーズは、そうしたエピソードを縫い合わせていく体験であり、街の記憶と出会いながら展開する、特殊な時空旅行となるでしょう。

参加アーティストプロフィール



Photo by 大久保至

枝 史織 Shiori Eda

1983年東京都生まれ。東京藝術大学大学院修了。2004年より東京藝術大学絵画科にて油画を専攻し、在学中に 久米賞(2005年)、安宅賞(2006年)、サロン・ド・プランタン賞(2008年)を受賞。同大学院での修学中にO氏記念賞(2008年)を受賞。修了後、「丸の内アートアワード」にて天野太郎賞を受賞(2010年)。「高島屋巡回展“美の予感”」(2015年、東京)、「枝史織 -自然、人、不自然」(2014年、東京)、「Young Art Taipei」(2013年、台北)ほか、個展、グループ展など多数。



Photo by 佐藤類

大友良英 Yoshihide Otomo

ギタリスト、ターンテーブル奏者、作曲家。1959年横浜生まれ。実験的な音楽からジャズやポップスの領域まで、多種多様な作風と活動で大きな注目を集める。映画やテレビの劇伴作曲のほか、近年は「アンサンブルズ」の名のもと様々な人たちとのコラボレーションを軸に展示作品や特殊形態のコンサート、一般参加型のプロジェクトにも力をいれている。2012年、プロジェクトFUKUSHIMA ! の活動で芸術選奨文部科学大臣賞芸術振興部門を受賞。2013年には「あまちゃん」の音楽でレコード大賞作曲賞他数多くの賞を受賞。2014年国際交流基金とともにアンサンブルズ・アジアを立ち上げアジアの音楽家のネットワーク作りにも奔走。



Ensembles 2010 共振 第7室 / 2010年
水戸芸術館
Photo by 下道基行



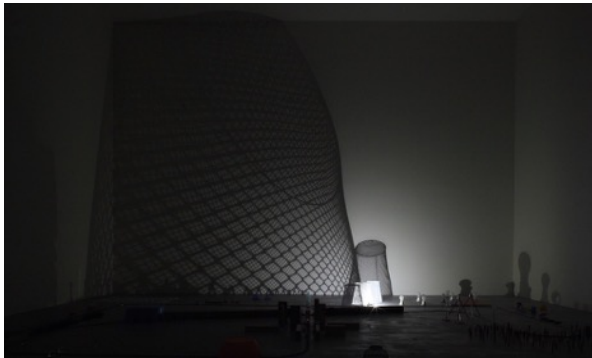
quartets / 2008年
山口情報芸術センター [YCAM]
写真提供: 山口情報芸術センター [YCAM]
Photo by 丸尾隆一 (YCAM)

参加アーティストプロフィール



クワクボリョウタ Ryota Kuwakubo

アーティスト、情報科学芸術大学院大学准教授。1998年に明和電機との共作「ビットマン」でエレクトロニクスを使用した作品制作活動を開始し「デバイス・アート」とも呼ばれる独自のスタイルを生み出した。その代表作に「ビデオバルブ」「PLX」や、Sony CSLに開発参加した「ブロックジャム」「ニコダマ」などがある。2010年発表の「10番目の感傷（点・線・面）」以降は、光と影を用いて観る人自身の記憶に働きかけ、内面で体験を紡ぎ出すようなインスタレーション作品を中心に制作。サイト・スペシフィックなバージョンとして「LOST」シリーズを国内外で制作している。



10番目の感傷（点・線・面）／2010年
NTTインターコミュニケーション・センター [ICC]
写真提供：NTTインターコミュニケーション・センター [ICC]
Photo by 木奥恵三



LOST #7／2012年



蓮沼執太 Shuta Hasunuma

1983年、東京都生まれ。音楽作品のリリース、蓮沼執太フィルを組織して国内外でのコンサート公演、映画、舞台芸術、音楽プロデュースなど領域横断的表現を多数制作する。また近年では、作曲という手法を様々なメディアに応用し、映像、サウンド、立体、インスタレーションを発表している。2014年はアジア・カルチュラル・カウンシル (ACC) の招聘によりニューヨークに滞在。主な個展に「作曲的 | compositions - space, time and architecture」(2015年、青森)、「知恵の処方 | Prescription for Coactivity」(2015年、東京) など。出版に「時が奏でる | Time plays - and so do we.」(2014年、CDレコード)、『音楽からとんでみる』(2014年、書籍) など。



SINDEE -installation view- / 2013年
Photo by Takehito Goto



作曲：ニューフィル / 2014年
神奈川芸術劇場 (KAAT) ホール
Photo by Takehito Goto

プロジェクト内容



02：ベップ・秘密のナイトダンスツアー

町を劇場に。圧倒的な身体とダンスで誘う、
不思議で妖しいベップの夜

- ◎開催日時 7月18日(土)～9月19日(土)毎週 金・土 20：00～(1時間半程度を予定)
7月19日(日)・8月13日(木)・9月20日(日)・21日(月・祝)・22日(火・祝)は開催
- ◎集合場所 JR別府駅
- ◎料金 中学生以上前売1,500円/当日2,000円、小学生500円(未就学児無料)



参考：2008年に中心市街地で開催したダンスプロジェクト「踊りに行くぜ!! vol.9」室伏鴻の公演

別府の町に染みついた空気と身体の気配が混じり合い、観客をどこでもないどこかに連れていく秘密のダンスツアーです。フェスティバル開催中、週替わりで1回3組のダンス/パフォーマンスを町中で上演します。どこへ行くのか知らされないまま集め

られた観客は、案内人に誘われ、町のそこでダンスやパフォーマンスに出会います。出演するのは、国内外で活躍するダンサーたち。さらにアジア各国からも新進気鋭のダンサーも加わり、夜の別府の街が、妖しくも魅惑の劇場へと変容します。

参加アーティストプロフィール



Abe "M" ARIA

高校在学中創作ダンス部にて踊り始める。その後様々な舞踏家・ダンサーのワークショップへの参加を経て、即興で踊ることを主体とした独自の稽古を開始。主な活動としてはソロ公演やミュージシャンとのライブを行う他、国内外のフェスティバルなどにも多数参加している。また活動当初より路上で踊り続け、劇場の枠にとらわれず、様々な観客の反応の中に身を置くことを心がけてきた。“暴力的な癒し系”などと言われたりも...



Photo by 平野愛

北村成美 Shigemi Kitamura

振付家・ダンサー。通称、なにわのコレオグラファー・しげやん。「生きる喜びと痛みを謳歌するたくましいダンス」をモットーに、振付家・ダンサーとして国内外で精力的に活動。別府現代芸術フェスティバル混浴温泉世界「オープンルーム」、京都芸術センター「Dance 4 All」など、各地で大型コミュニティダンス作品を発表。学校・福祉施設はもちろん、居酒屋、ご家庭の居間、電車、スーパーマーケットなど、いつでもどこでも誰とでも踊ることがライフワーク。平成15年度大阪舞台芸術新人賞、平成22年度滋賀県文化奨励賞を受賞。一般財団法人地域創造公共ホールダンス活性化支援事業登録アーティスト。



Photo by 谷康弘

吟子 Ginko

ダンサー・演出家、長井江里奈のソロ名義。ディスコクラシックと歌謡曲をこよなく愛し、お客様と一緒に踊るのが至上の喜び。口癖は「みんな、踊ればいいのに」



The NOBEO

身体に金粉をまといパフォーマンスを行なう金色のダンス“金粉ショー”。「The NOBEO」は、70年代～80年代にかけ、各地の温泉旅館やキャバレーなどで行なわれていた金粉ショーを水野立子・佐東範一(元白虎社)の稽古指導のもと、別府現代芸術フェスティバル2012『混浴温泉世界』を機に復刻させた、男女3名で構成された金粉ショーチーム。

参加アーティストプロフィール



鈴木ユキオ Yukio Suzuki

「YUKIO SUZUKI Projects」代表／振付家・ダンサー。世界30都市を超える地域で活動を展開し、しなやかで繊細に、且つ空間からはみだすような強靱な身体・ダンスは、多くの観客を魅了している。また、室伏鴻・中村恩恵の作品出演やMV出演、ミュージシャンとの共同制作やワークショップなど、活動は多岐に渡る。'08年にトヨタコレオグラフィーアワードで「次代を担う振付家賞（グランプリ）」を受賞。'12年フランス・パリ市立劇場「Danse Elargie」では10組のファイナリストに選ばれた。



Photo by Sajik Kim

Monochrome Circus

「身体をめぐる／身体との対話」をテーマに国内外で活動を展開するコンテンポラリーダンス・カンパニー。主宰・坂本公成。主なレパートリー作品に『掌編ダンス集』、海外振付家による3作品、日本-フィンランド共同製作プログラム『HAIGAFURU』（2012）など。一般のコミュニティを対象とした活動の代表作として『ダンサーを探せ!!』（初演・別府現代芸術フェスティバル「混浴温泉世界」、2009）。企業や学校などでのワークショップ、指導も多数行う。(財)地域創造「公共ホール現代ダンス活性化事業」登録アーティスト。



yummydance

甘味で珍味でスパイシー！な女4人の'おいしいダンス'カンパニー。愛媛松山を拠点に、国内ツアーや海外フェスなど多くの舞台で作品を上演。メンバー全員が振付家というスタイルで、粹にはまらないパフォーマンスは各地で話題を呼ぶ。トウヤマタケオ楽団との「手のひらからマウンテン」はDVDにて好評発売中！昨年、結成15周年「狂喜の沙汰祭り」開催。最新作はミュージシャン中ムラサトコと共に制作した「女(め)ぐるぐる」。

ANTIBODIES Performance Art Collective

プロフィールP13参照

MuDA

プロフィールP13参照

プロジェクト内容

03：永久別府劇場・恐怖の館

アーティストが生み出すお化け屋敷！恐怖と不思議の空間を体験せよ

◎開催日時 / 参加アーティスト

毎週木・金・土・日曜および祝日

[第1期] 7月18日(土) — 8月16日(日)

ANTIBODIES Performance & Interdisciplinary Art Collective (ANTIBO)

[第2期] 8月22日(土) — 9月6日(日) / MuDA

[第3期] 9月11日(金) — 9月27日(日) / 福岡恐いもの研究会

◎会場 永久別府劇場 (別府市北浜1-1-12)

◎料金 500 円(予約不要/未就学児入場不可)



永久別府劇場

元ストリップ劇場の「永久別府劇場」を会場に、現代美術家や照明デザイナー、システムデザイナー、パフォーマーらがつくるお化け屋敷。フェスティバル開催中、3つのアーティスト集団が、次々に恐怖と不思議の空間を演出し、小学生から大人まで楽しめる、未だかつてない新しいお化け屋敷を、別府の街に出現させます。オープニン

グとなる第1期は「混浴温泉世界2012」にて、商店街全体を劇場化した「楠銀天街劇場」で話題を呼んだ東野祥子(ダンス) ×カジワラトシオ(音楽) ×OLEO(美術)などによる新しいユニットANTIBOが手掛けます。

参加アーティストプロフィール



[第1期] 7月18日(土) — 8月16日(日)

ANTIBODIES Performance Art Collective



略してANTIBO（アンチボ）。様々な鍛錬や境界がダイナミックに関わり合う「インターディシプリナリー」なコラボレーションの形態を発展させるスペシャリストの集合体。それぞれのリサーチと実験による蓄積はパフォーマンス・イベントやコミュニティー・ワークショップ、インスタレーション、出版物などへと結実しながら市民社会や教育の現場に貢献する。2015年、パフォーマンス・アーティストの東野祥子とカジワラトシオによって設立。2000年よりアジアや南米地域を含む国内外での公演活動を続け、地域活性化事業に関わってきた「DanceCompany Baby-Q」を母体としている。

演出・振付=東野祥子、演出・音楽=カジワラトシオ、美術=OLEO、映像=斎藤洋平、照明=筆谷亮也、特殊美術=古館健、ダンサー=ケンジルビエン、衣装=ペーどるリーの

[第2期] 8月22日(土) — 9月6日(日)



Photo by Koji Tsujimura

MuDA

2010年、ダンサー・振付家・演出家のQUICKを中心に、作曲家の山中透、美術家の井上信太ら、各方面で活躍する、ジャンルや年代の異なるアーティストが集まり、京都を拠点に結成されたハイパーパフォーマンスグループ。宇宙のリズム = 「ぶつかるところから始まる」、いのちのリズム = 「倒れたら立ち上がる」等、生命の振起活動を模索し、カタチに起こした、他者や物体、大地と常に衝突する、MuDA独自の身体運動を軸に作品を展開。生命、身体、負荷、儀式、宇宙といった普遍的なテーマを基に、ダンス、音楽、美術、映像等、多様なメディアを使用した公演、展示を各地で行う。

[第3期] 9月11日(金) — 9月27日(日)



福岡怖いもの研究会

世の中に溢れる様々な「怖い」を調べて、より恐がる為に、演出家の五味伸之が結成する。演劇お化け屋敷「劇コワ！」を主に、怖いもの勉強会等を行う。大分県日田市の「ひた演劇祭」ではキャストを公募し、10代～60代までの幅広い年齢層の参加者と共に、自分たちの「こわい」体験からオリジナルのお化け屋敷を創作し好評を得る。2014年、日本三大奇書作家の「夢野久作」を題材としたお化け屋敷「劇コワ！夢野久作全集」が（公財）福岡市文化芸術振興財団ステップアップ事業に採択された。

プロジェクト内容



04：わくわく混浴デパートメント 帰ってきた「わくわく」！

◎開催日時 8/26(水)、9/9(水)を除く毎日／10:00～19:00

◎会場 トキハ別府店（別府市北浜2-9-1）

◎料金 無料(予約不要)



上段：会場となるトキハ別府店 下段：2009年わくわく混浴アパートメントの様子

デパート全体を使った若手作家による展覧会。作品展示はもちろん、ライブペインティングやパフォーマンスなど、常に何かが起こり続けるライブ感溢れる多数のイベント

を展開。混浴温泉世界2009の人気企画「わくわく混浴アパートメント」がスケールアップして別府に帰ってくる！

参加アーティストプロフィール

● 参加アーティスト／コーディネーター



勝 正光 Masamitsu Katsu

画家。2009年「わくわく混浴アパートメント」参加を機に会場となった清島アパートに移り住み、地域に浸透した上で作品発表を続ける。現在、清島アパート在住6年目、別府市子ども会育成会連合会夏休み児童絵画作品コンクール 審査委員長、別府路地裏の地域通貨「湯路（ゆ〜る）」発行アチチ中央銀行 第11代総裁、別府てんてく食べあるきまちあるきガイド、別府やよい天狗通りスタジオ風穴 店長。1981年大阪府生まれ。2006年「GEISAI#10」銅賞、佐藤可土和賞、電通賞受賞。



遠藤 一郎 Ichiro Endo

1979年静岡県生まれ。未来へ号ドライバー。2006年より『未来へ号シリーズ』開始。車体に「未来へ」と描かれたバスに乗って車上生活をしながら全国を行脚する。各地で夢を描いた連凧をあげる『未来龍大空凧』。日本列島をキャンバスにメッセージを描く『RAINBOW JAPAN』。その他、未来美術専門学校。DJじゃみへんさん。island JAPANプロデューサー。



豚星なつみ Pigstar Natsumi

1980年大分県生まれ、由布院在住、象書家。豚が大好きで筆を使って文字の意味や象(カタチ)をオリジナルの書体で文字やふたを描く。2006年湯布院映画祭ポスターデザインを手がけその後、湯布院と関わる。2009年〜清島アパートに住む。"豚物産展""わくわくプロジェクト"など他多数イベントやワークショップなどを行い、看板やロゴなどを手掛ける。東勝吉賞水彩画公募展「陽はまた昇る-83歳からの出発」アートディレクター／ゆふいん風和里 2F ギャラリー&アトリエ

● 参加アーティスト (2015年4月30日現在)

浅井真至、安部寿紗、Antenna、池田ひとみ、伊藤 悠、一般社団法人九州サブカルチャー連盟、Cool Japanおおいた、いるか姫、岩佐まゆみ、イワモトジロウ、えふみ、大澤寅雄、大澤希林、奥平 聡、海野貴彦、かいうき、加藤笑平、KAZUHIRO HAKATA、加茂 昂、木下賢也、木村奈緒、桐あすみ、幸田千依、小枝 瞳、コタケマン、小森文雄、さめじまことえ、菅 英二、杉原信幸、高見 剛、高村佳典、武田 力、タナカヤスアキ、旅する服屋さん、手塚夏子、富安由真、仲田恵利花、中村留津子、中村良司、信長、八雄、平川 渚、はまぐちさくらこ、林 加奈子、ひさつねあゆみ、瓶ビール班長、松尾常巳、松尾晴代、松下 徹、まつばらかおり(supernormal)、Mark Truscotto、真島竜男、madoka.fu2yuan2、水川千春、みなみりょうへい、宮本初音、山田はじめ、山下陽光、山野勇氣、unitmaker、芳賀健太、吉永ジェンダー、ライスボール山本、山中カメラ

ベップ・アート・マンスについて



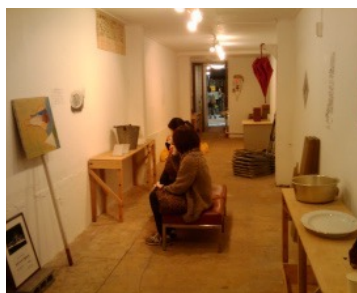
市民文化祭「ベップ・アート・マンス2015」

「ベップ・アート・マンス」は、毎年別府市内で開催される、文化芸術にまつわる活動を幅広く紹介する市民文化祭月間です。規模やジャンルに関わらず、「ふだんの創作活動の発表の場がほしいな」という市民誰でもが、自分の考案したプログラムで参加できます。プログラム会場は、公共温泉の2階にある公民館や、カフェの一角、空きスペースをリノベーションしたギャラリーなど、別府市内に点在。毎日必ずどこかで催されるプログラムを巡ることで、別府の町全体を楽しむことができます。2010年に始まり6回目の今年は、混浴温泉世界2015と同時開催。約70の団体/個人による80以上のプログラムを予定しています。

● 「ベップ・アート・マンス2014」実施例



短編映画の上映とミニトーク



商店街に新設されたアトリエスペースでの展示



JR別府駅特設インフォメーションセンター



地域のお寺で行う身体ワークショップ



宮城県女川町からゲストを迎えたトークイベント



4tトラックを舞台にしたプロのダンス公演

◎主催 別府現代芸術フェスティバル「混浴温泉世界」実行委員会

◎会期 7月18日(土)～9月27日(日)

◎会場 大分県別府市内各所

◎時間・料金 プログラムにより異なる(無料～3,500円程度)

1: 個別のプログラムの情報は、パンフレットおよびWebサイトにて閲覧できます

・パンフレット 6月初旬発行

・Webサイト 6月初旬プログラム情報公開 www.bepputartmonth.com

2: インフォメーションセンター(有人対応) 7月11日(土)～9月27日(日) 期間中無休
JR別府駅構内

関連事業



KASHIMA 2015 BEPPU ARTIST IN RESIDENCE

湯治文化が今なお残る鉄輪<かなわ>地区ならではの滞在形態「貸間」^{カシマ}＝湯治旅館に、海外のアーティスト2組程度が滞在し、この地域の記憶を紡ぎ生まれた新作を発表します。



会場となる富士屋Gallery一也百

- ◎主催 NPO法人BEPPU PROJECT
- ◎共催 別府現代芸術フェスティバル「混浴温泉世界」実行委員会
- ◎会期 7月18日(土)～9月27日(日)
- 定休日：火・水 但し、9月22日(火・祝)、23日(水・祝)は開催
- ◎会場 富士屋Gallery 一也百くはなやもも>ほか
- ◎ゲストディレクター キース・ウィットル (英)
- ◎参加アーティスト アダム・チョズコ (英)、スタパ・ビズワズ (英) (1ヶ月程度滞在し制作)
- ◎助成 平成27年度文化庁文化芸術の海外発信拠点形成事業

BEPPU PROJECT 2015

2005年に活動を始め、今年で10年が経つBEPPU PROJECTによって地域に蓄積されてきた作品を新作と共に紹介します。



HITOTZUKIによる海と湯けむりをイメージした壁画

- ◎主催 NPO法人BEPPU PROJECT
- ◎共催 別府現代芸術フェスティバル「混浴温泉世界」実行委員会
- ◎会期 7月18日(土)～9月27日(日)
- 定休日：作品が設置されている各施設に準ずる
- ◎会場 大分県別府市中心市街地各所
- ◎参加アーティスト ラニ・マエストロ(仏)、アルテラジオ(仏)、アガット・ドゥ・パイアンクール(仏)、マイケル・リン(中)、アイリ・ザング(中)、HITOTZUKI、浅井裕介、国本泰英、廣瀬智央(鑑賞体験は宿泊のみ)、藤本隆行(新作)、マテー・アンドラス・ヴォグリンキク(スロヴェニア・新作)、草本利枝(新作)、太平由香理(新作) ほか
- ◎助成 平成27年度文化庁優れた現代美術の海外発信促進事業



国本泰英による群像図



浅井裕介によるトキハ別府店屋上に描かれた巨大絵画

組織

実行委員会参画団体：大分県、大分県東部振興局、別府市、公益財団法人 大分県芸術文化スポーツ振興財団、公益社団法人 ツーリズムおおいた、一般社団法人 別府市観光協会、別府商工会議所、大分経済同友会、別府市商店街連合会、大分大学、大分県立芸術文化短期大学、別府溝部学園短期大学、九州旅客鉄道株式会社、JTB九州 大分支店、大分合同新聞社、NPO法人 別府八湯トラスト、NPO法人 ハットウ・オンパク、NPO法人 鉄輪湯けむり倶楽部、NPO法人 アートNPOリンク、NPO法人 Japan Contemporary Dance Network、NPO法人 BEPPU PROJECT

実行委員会監事：別府市旅館ホテル組合連合会、別府大学
 実行委員長：中山欽吾(大分県立芸術文化短期大学 学長)

総合プロデューサー



山出 淳也 Jun'ya Yamaide

NPO法人BEPPU PROJECT 代表理事

1970年大分生まれ。PS1 インターナショナルスタジオプログラム参加(2000-01)。文化庁在外研修員としてパリに滞在(2002-04)。主な展覧会として「台北ビエンナーレ」台北市立美術館(2000-01)、「GIFT OF HOPE」東京都現代美術館(2000-01)、「Exposition collective」Palais de Tokyo、パリ(2002)など多数。帰国後、地域や多様な団体との連携による国際展開を目指して、2005年にBEPPU PROJECTを立ち上げ現在にいたる。平成20年度芸術選奨文部科学大臣新人賞受賞(芸術振興部門)。

総合ディレクター



芹沢 高志 Takashi Serizawa

P3 art and environment 統括ディレクター

1951年東京生まれ。神戸大学数学科、横浜国立大学建築学科を卒業後、(株)リジナル・プランニング・チームで生態学的土地利用計画の研究に従事。その後、東京・四谷の禅寺、東長寺の新伽藍建設計画に参加したことから、89年に P3 art and environment を開設。99年までは東長寺境内地下の講堂をベースに、その後は場所を特定せずに、さまざまなアート、環境関係のプロジェクトを展開している。とかち国際現代アート展『デメーテル』総合ディレクター(2002年)。アサヒ・アート・フェスティバル事務局長(2003年〜)。横浜トリエンナーレ2005キュレーター。別府現代芸術フェスティバル『混浴温泉世界』総合ディレクター(2009年、2012年、2015年)。デザイン・クリエイティブセンター神戸(KIITO)センター長。昨年、さいたまトリエンナーレ2016のディレクターに就任。著書に『この惑星を遊動する』(岩波書店)、『月面からの眺め』(毎日新聞社)、『別府』(別府現代芸術フェスティバル『混浴温泉世界』実行委員会)など、訳書にバックミンスター・フラー『宇宙船地球号操縦マニュアル』(ちくま学芸文庫)、エリッヒ・ヤンツ『自己組織化する宇宙』(共訳：工作舎)などがある。

キュレーター

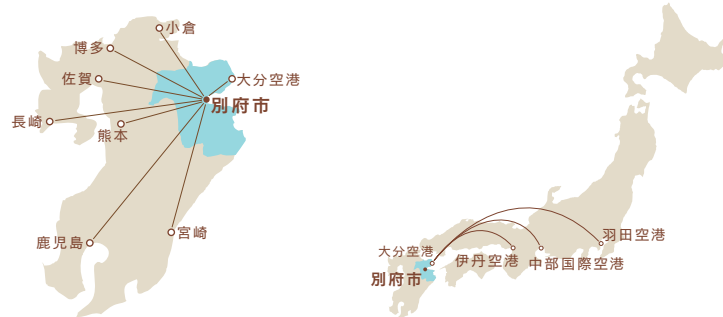


佐東 範一 Norikazu Sato

NPO法人ジャパン・コンテンポラリーダンス・ネットワーク [JCDN] 代表

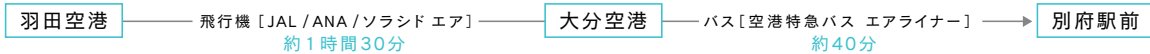
1960年北海道生まれ。1980~94年舞踏カンパニー「白虎社」にて舞踏手兼制作者として活動。96年より1年間NYのダンス・シアター・ワークショップ(DTW)にてアーツマネジメント研修。3年間の準備を経て、2001年4月NPO法人ジャパン・コンテンポラリーダンス・ネットワーク(JCDN)設立。全国のアーティスト・主催者・評論家・企業・財団などダンスに関わる個人・団体のネットワーク型NPOとして、「踊りに行くぜ!!!」開催、「ダンスファイル」製作、インターネットによるダンス公演・ワークショップ予約システム「ダンスリザーブ」運営、「コミュニティダンス」の普及、ワークショップ・公演のコーディネーターなど、日本全国にてダンスと社会を結ぶための多くの活動を行っている。2011年の震災以降、「習いに行くぜ!東北へ!!!」「三陸国際芸術祭」を開催。JCDN 以外に、NPO 法人アートNPOリンク理事長/財団法人地域創造 公共ホール現代ダンス活性化事業チーフコーディネーターなど。

アクセス

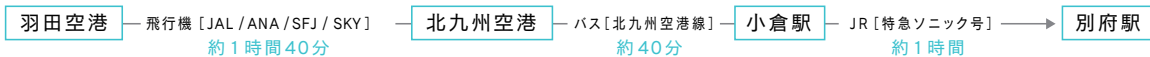


◎ 東京から

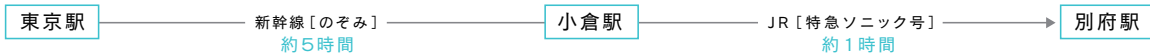
飛行機とバス(約2時間)



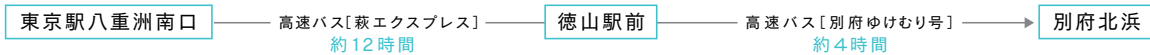
飛行機とバスとJR(約4時間)



新幹線とJR(約6時間)

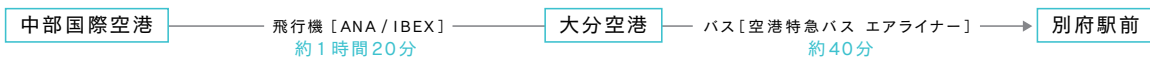


バス(約16時間)

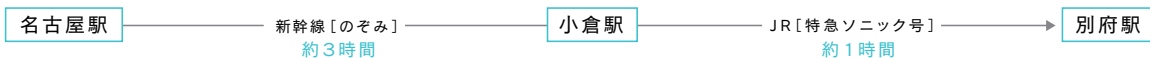


◎ 愛知から

飛行機とバス(約2時間)

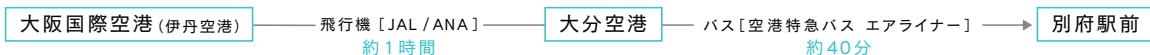


新幹線とJR(約4時間)

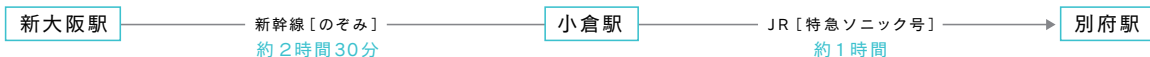


◎ 大阪から

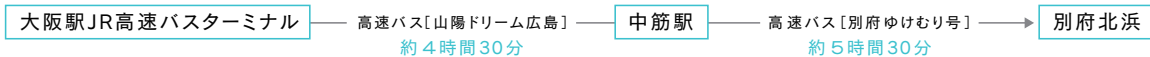
飛行機とバス(約2時間)



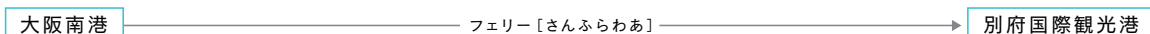
新幹線とJR(約3時間30分)



バス(約11時間30分)



フェリー(約11時間20分)



〈お問い合わせ〉

別府現代芸術フェスティバル「混浴温泉世界」実行委員会事務局
〒874-0933 大分県別府市野口元町2-35 菅建材ビル2階〈NPO法人 BEPPU PROJECT内〉
tel:0977-22-3560 fax:0977-75-7012 e-mail: info@mixedbathingworld.com

<http://www.mixedbathingworld.com>